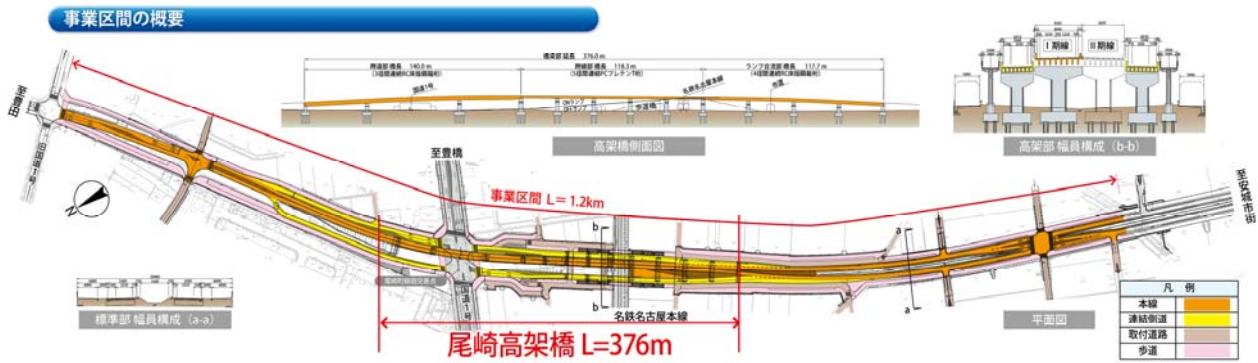


参考資料



【主要地方道豊田安城線の性格】

主要地方道豊田安城線は、東名高速道路豊田 IC（豊田市美山町）と安城市中心部（安城市明治本町）を南北に結ぶ約 1.4 km（B P 部除く）の主要な幹線道路です。自動車産業を中心とする西三河工業地域を連絡し、さらには重要港湾の衣浦港に至る西三河地域の南北軸として、経済・産業上極めて重要な路線です。

【現状の課題】

豊田安城線の現道は、国道 1 号および名鉄名古屋本線と近接して平面交差しているため、慢性的な渋滞を引き起こしていました。

特に朝夕の通勤時間帯では、国道 1 号と交差する「東栄町交差点」で南行きで最大約 13 分、北行きで最大約 17 分もの通過時間を要する渋滞となっています。

こうした状況は、地域経済・産業や地域住民の生活に対して大きな障害を与えており、サービスの高い幹線道路の整備が課題となっていました。

また、安城市内には国道 1 号及び名鉄名古屋本線と立体交差している既存の道路は無く、最も近いところでも、西には約 5 km・東には約 9 km離れた路線を利用するしかありませんでした。



現道踏切渋滞状況（宇頭 12 号踏切付近）

参考データ

国道 1 号及び名鉄名古屋本線と立体交差している道路

- 西へ約 5 km：有料道路 衣浦豊田道路（知立市牛田町）
- 東へ約 9 km：都市計画道路 衣浦岡崎線（岡崎市大平町）

【豊田安城線バイパスの開通による効果】

バイパス開通により、以下の効果が期待されます。

○通過時間の短縮

交差点の信号待ち時間や、踏切による遮断時間が解消され、スムーズな通行が可能となります。

○安全性の向上

重大事故につながる踏切や交差点の通過を回避でき、道路の安全性が向上します。

また、バイパスには自転車歩行者道が整備されるため、交通事故防止に寄与します。

○地域の発展

物流効率の向上や地域分断の解消、周辺地区の交通混雑の緩和につながり、地域の発展に貢献します。



豊田安城線バイパスの整備効果

- 信号・踏切での待ち時間解消
国道1号と名鉄名古屋本線を高架橋によりスムーズに横断可能となり通過時間が短縮されます。
- 安全性の向上
交差点、踏切を通過する必要がなくなり安全性が向上します。
- 地域の発展
物流効率の向上、地域分断の解消、周辺地域の交流促進により地域の発展に貢献します。



尾崎高架橋より、国道 1 号・名鉄名古屋本線を撮影